

常務取締役/
株式会社ユー・エス物流 代表取締役社長

池田 浩照

Profile

1984年の入社後、オークション会場の新規開設やシステム開発に携わる。2006年に常務取締役に就任後、システム本部長、会場長、オークション運営本部長を歴任。2024年に株式会社ユー・エス物流代表取締役社長に就任し、当社常務取締役と兼任で職務にあたる。



パートナー企業と良好な関係を構築し、 安定したオークション運営をサポートしています。

オートオークションに欠かせない出品車の移動や撮影などの 構内業務をパートナー企業とともに請け負っています。

USSのオークション運営は、多くのパートナー企業の協力によって支えられています。全国19会場で火曜から土曜にかけて開催されるオートオークションでは、出品車両の撮影や移動、オークション終了後の再配置といった構内業務が欠かせません。当社子会社である株式会社ユー・エス物流（以下、US物流）では、こうしたオークション会場におけるさまざまな構内業務を請け負っています。小規模会場ではUS物流が地元採用したスタッフが構内業務を担っていますが、大規模会場では1日あたり200名規模のスタッフが必要となる場合もあり、輸送・陸運業を中心としたパートナー企業の協力のもと人員を確保しています。

US物流は、パートナー企業と年間契約を結びながら、安定した協働体制を築いてきました。当社の創業期から継続して取り引きしているパートナー企業が多く、信頼関係に基づいて業務を進めています。構内業務では、限られたストックヤードにその都度異なる台数の出品車を効率的かつ安全に配置するために、豊富な経験とノウハウが必要となります。高い専門性が求められることから、実績あるパートナー企業への委託は業務の効率性・安全性に直結しています。

一方で、労働人口の減少という社会課題を踏まえ、US物流では新たな委託先の開拓にも積極的に取り組んでいます。既存パートナーとの強固な関係を基盤に、新たな協働先を加えることで、安定的で持続可能なオークション運営を支えています。

会員の利便性・経済性に寄与する輸送サービスを展開し サプライチェーンの強化を目指します。

オートオークションでは、出品車両の搬入や落札車両の搬出といった輸送業務も欠かせません。US物流は、オークション会員である中古車業者から依頼を受け、搬入・搬出を手配しています。輸送業務は全国展開する大手運送会社から地域密着型の運送会社まで30社以上に委託しており、構内業務と同様にコンプライアンスと安全を重視した年間契約を締結しています。さらに、四半期ごとにパートナー企業を訪問し、積載車の保有状況や運行体制、ドライバー数、輸送ルートとの相談などを通じて事業の実態を把握しています。これらの情報に基づき、効率的かつ実現性の高い輸送計画を立案・実行しています。

また、US物流ならではの特徴的な取り組みとして、各オークション会場を結ぶ「会場間輸送サービス」を提供しています。例えば、関東の会員が名古屋会場で車両を落札した場合、希望に応じて関東の最寄り会場まで落札車両を輸送し、そこで受け渡しをすることができます。US物流が輸送手配を一括で行っており、複数の車両を混載して輸送することで、会員にとっては輸送コスト削減や納期短縮を実現できるなど高い利便性を生み出しています。一方、パートナー企業にとっても効率的なルート運行や積載効率の向上につながり、稼働の安定化が実現するなどのメリットを生み出しています。こうした混載輸送の仕組みは環境負荷の低減にも寄与するものです。

US物流は会場間輸送の拡充を通じて、会員の利便性を高めるとともに、パートナー企業と協働しながら持続的な成長を目指しています。オートオークションを支える強固なサプライチェーンの確立こそが、安定した事業運営と業界の発展に直結すると考えています。

常務取締役/
株式会社ユー・エス物流 代表取締役社長

池田 浩照

US物流の業務とサプライチェーン

